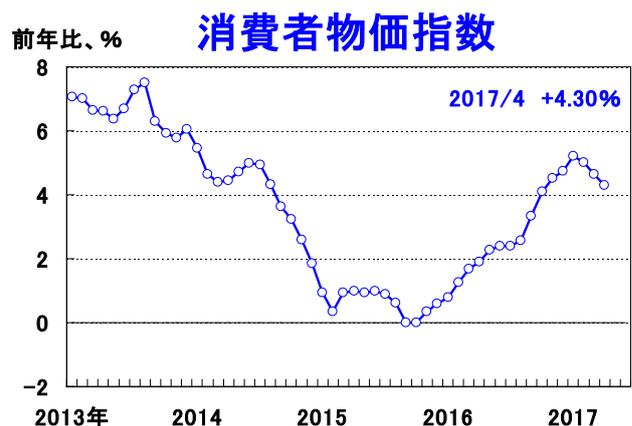
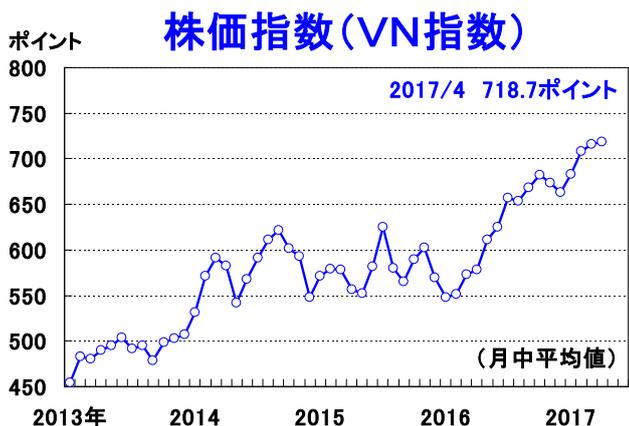
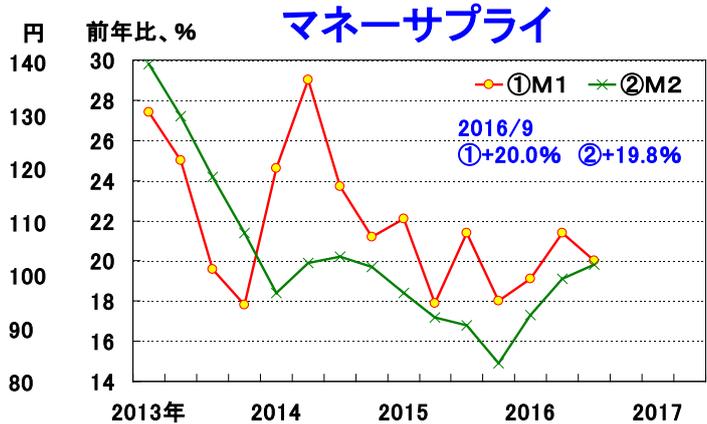
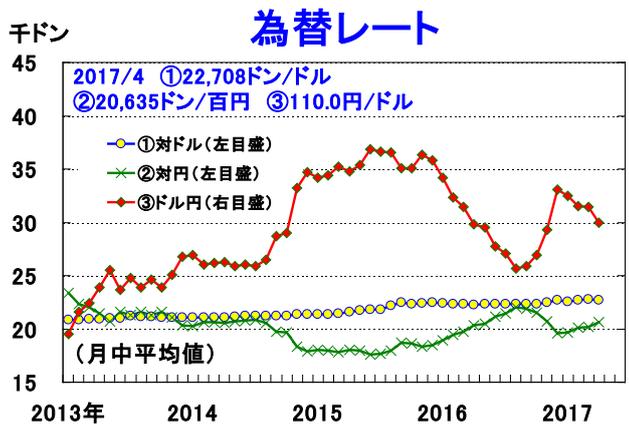
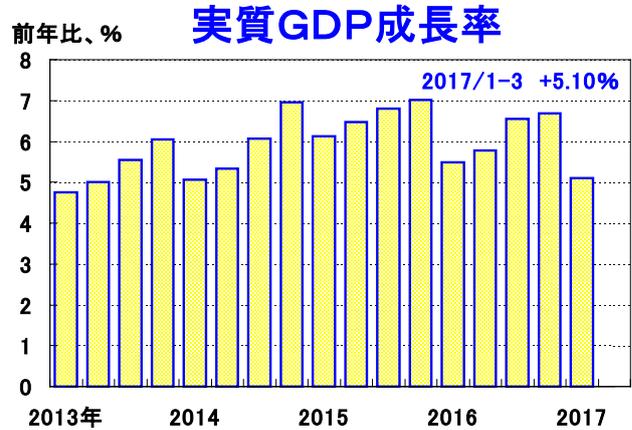
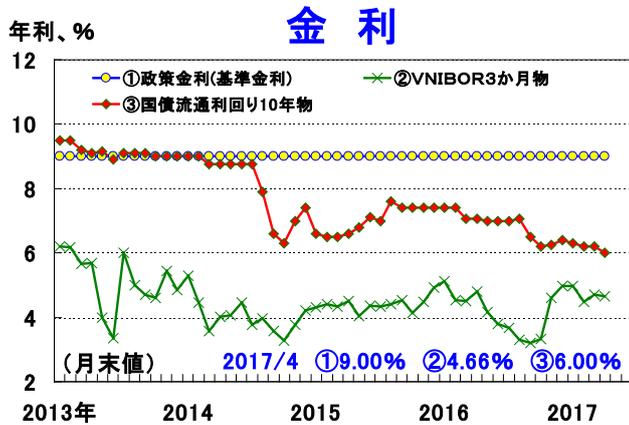


グラフで見るベトナム経済 2017年5月号(No. 88)

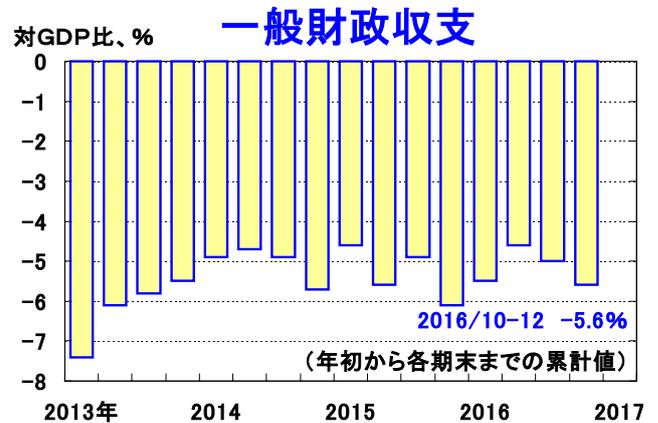
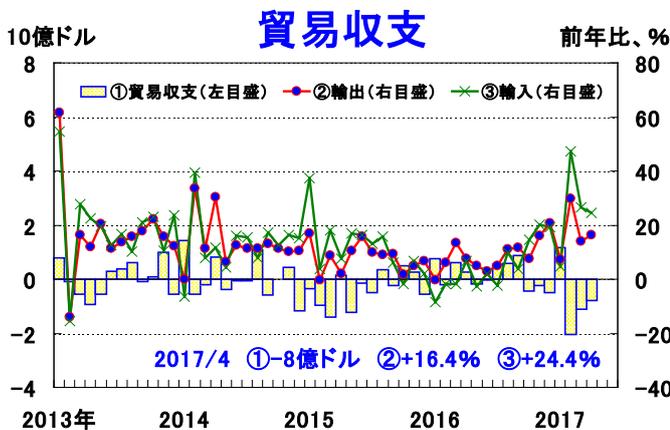
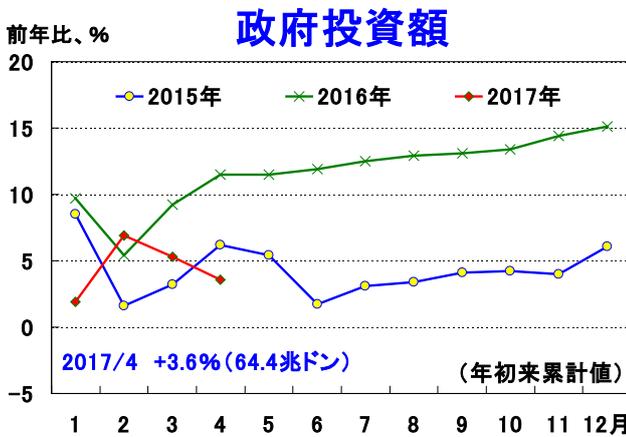
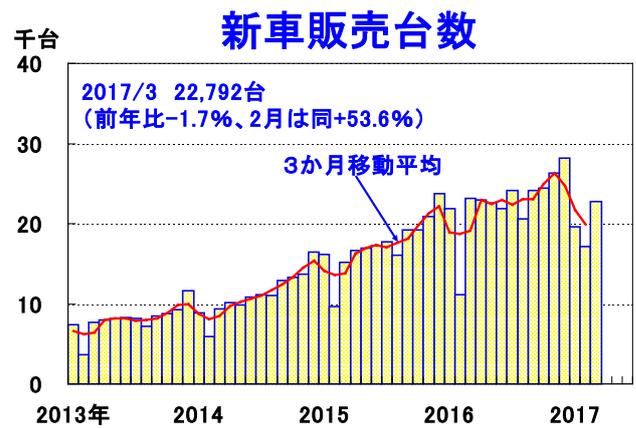
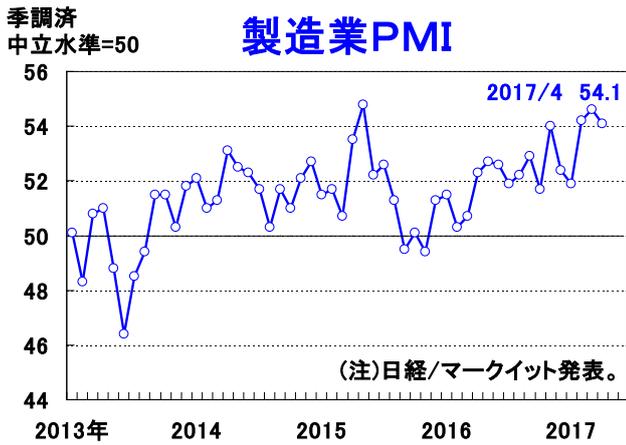
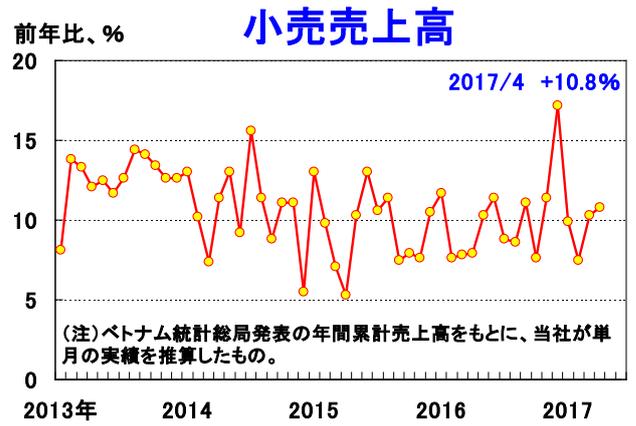
ベトナム景気は持ち直している。まず、企業部門では、4月の輸出が前年比+16.4%(前月は同+14.1%)と伸びを高め、同月の鉱工業生産も同+7.4%と前月の伸び(同+5.5%)を上回った。また製造業の景況感を示す4月の製造業PMIは54.1と、22か月ぶりの高水準だった前月の54.6からやや低下したものの、中立水準の50を大きく上回っている。一方、家計部門をみると、3月の新車販売台数は前年比-1.7%と減少したものの、4月の小売売上高は同+10.8%(前月は同+10.3%)と4か月ぶりの高い伸びとなった。



【今月のトピック:トランプ大統領がベトナム訪問へ】 本年の11月にトランプ米大統領によるベトナム訪問が実現する。同月にはフィリピンで米アセアンのサミット、ベトナムではAPEC(アジア太平洋経済協力)が開催される。これらの会議にトランプ大統領が出席する予定である。米国とベトナム間の外交関係は前オバマ大統領の時代に大きく改善した。しかしながら、トランプ新政権はベトナムにとって恩恵が大きいTPPからの離脱を決定した。米国にとって東シナ海の資源開発を巡り中国と対立関係にあるベトナムは地政学的に重要であり、トランプ外交の行方が注目される。

(出所) ベトナム国家銀行 (SBV)、ベトナム統計総局 (GSO)、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) ベトナム統計総局 (GSO)、ベトナム自動車工業会、ベトナム国家銀行 (SBV)、IMF、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。